

(解説) 赤色は発情反応があったセル, 黄色は発情疑い(発情レベルに達していないが動きが見られた牛)のセル。

表2 発情通知等集計表

項目	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月
■ 赤	116	56	51	84	95	65	37	36	28	41	53	103	75	72	84	106	111	68	69
■ 黄	17	40	37	41	41	85	49	25	30	32	44	61	33	55	48	58	50	59	29
発情通知数	6	25	29	60	66	29	32	23	18	28	38	82	42	61	70	123	63	34	28
計画回数	2	6	3	5	4	8	6	6	6	7	6	4	1	2	2	1	4	4	0
発情以下通知 (10:00~17:00)	1	3	1	3	4	2	3	5	2	3	0	2	2	1	8	4	5	1	0
発情開始時間 (6:00~17:00)	36	34	27	64	80	52	34	17	14	23	41	101	49	53	74	111	85	34	22
発情開始時間 (18:00~5:00)	31	20	18	17	14	11	13	12	6	9	13	22	16	15	9	12	25	18	14



(解説) ファームノートカラー導入～現在までの通知数の集計表。月別で発情通知の多い月や、発情通知のあった時間帯(日中及び夜中)は棒グラフで示している。



写真1 ファームノートカラー分析表現地説明会



写真2 ファームノートカラー実績検討会

(3) ファームノートカラーを活用した繁殖成績向上への取り組み

ファームノートカラー導入後約1年間の繁殖成績を分析したところ、分娩間隔及び空胎日数, 授精までに要した授精回数に改善がみられた。(表3)

表3 繁殖成績分析表

項目	農場	検定日		差
		R3.12	R4.12	
分娩間隔(日)	A	503	501	2
	B	440	428	12
空胎日数(日)	A	232	174	58
	B	171	146	25
授精までに要した授精回数	A	2.4	2.2	0.2
	B	2.2	1.8	0.4

(参考) 家畜改良事業団

ファームノート(繁殖管理システム)を上手く活用するためには、農場主本人によるアプリの入力が必須となっている。機器の装着だけで繁殖成績の向上になるわけではなく、目視での観察や日々の記録を徹底することで生産性向上につながるため、アプリ入力の習慣化が必要である。

また、記録が終了した牛(種付け後妊娠した牛)のセンサーの付け替えについては、時間が経つにつれて装着部分の劣化で取り外しが困難となることから、機器のアタッチメントの改良が必要である。

4 今後の課題

- (1) ファームノートを上手く活用するために、アプリ入力の習慣化が必要
- (2) センサー付け替えが簡単にできるようにセンサー取り外し部分の改良が必要

5 担当した普及職員(○はチーフ)

○岡村, 森, 田端